

1 1 サイ〈奇蹄目、サイ科〉

ア 和名：ジャワサイ〈インドサイ属〉
英名：Javan rhinoceros
学名：*Rhinoceros sondaicus*
分布：ジャワ

イ 和名：クロサイ〈クロサイ属〉
英名：Black rhinoceros
学名：*Diceros bicornis*
分布：サハラ以南のアフリカ



【クロサイ】

(1) 動物の特徴と同定

サイ

特定（危険）動物としてサイ科動物全種が指定されている。

サイ

英名：Rhinoceros
学名：*Rhinoceros* インドサイ属 2種
Dicerorhinus スマトラサイ属
Ceratotherium シロサイ属
Diceros クロサイ属

分布：アフリカ大陸に2種、アジアに3種が分布している。

特徴：ゾウに次ぐ陸上での大型動物でスマトラサイを除く種については皮膚が裸出している。頭部の正中線上に1~2本の角があり、古くから、この角を目的とした乱獲にあり、いずれの種類もその生息数が著しく減少している。特にジャワサイ、シロサイの一亜種キタシロサイについては絶滅が危惧されている。

体長：3.7~4m

体高：1.7~1.8m

体重：1.7~2.3t（シロサイの例）

習性等：

- ・草原、湿地帯等に、単独、種によっては複数で生活する。
- ・妊娠期間は16ヶ月。1産1仔。
- ・寿命は45年

CITES I

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

誕生後数週間の、子牛ほどの大きさの幼獣であれば、数人掛かりで首や身体を抱えて保定できる。

B 器具を使用した保定法

誕生後数週間の子牛ほどの大きさの幼獣であれば、枠場を用いた保定が可能である。

C 麻酔法

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には深い麻酔は必要がない。日本動物園水族館協会加盟 12 園館が研究目的で使用を許可されている塩酸エトルフィンなどのオピエイドが選択薬となる。起立姿勢で不動化状態を得るには塩酸エトルフィンを1頭あたりクロサイで 0.5~0.85mg、シロサイで 1~2mg、インドサイで 0.5~1.5mg 筋肉内に投与する。拮抗剤のジプレノルフィン[®]は塩酸エトルフィンの2倍量を静脈内投与する。

サイの皮膚は厚いため、注射針は針長が 50~70mm の長いものを用いる。皮膚の切れ端による注射針の栓塞を防ぐため、先端が閉じ、針の途中に開口部のあるゾウ用注射針 (elephant needle) が米国の動物園で使われている。首か肩が注射部位として好んで用いられる。

D 特に注意すべき事項

作業に当たり、保定者はヘルメットおよび皮手袋を装着する。また、塩酸エトルフィンによる人身事故を防止するため、常にナロキソンなどの拮抗剤を使用できるように準備しておく。また、麻酔に当たり動物にできるだけストレスを与えないように注意する。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

左耳の後部、付け根の皮下に埋めこむ。

B マイクロチップ埋込みの実際

動物を起立、腹臥状態あるいは右下横臥にして、術部をイソジン綿かアルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に刺入しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

埋込み器の針の穿刺部分は、できる限り血管を避ける。